

孤育てママ・パパの「つながるストレス」をゼロに。LINEでできる“AIチーム育児”が『子育てエスコートAI』に新登場

～「話したいけど、本音では話せない」そんな孤育ての悩みに。ママの声から生まれた、AIだからこそできる子育てサポート～

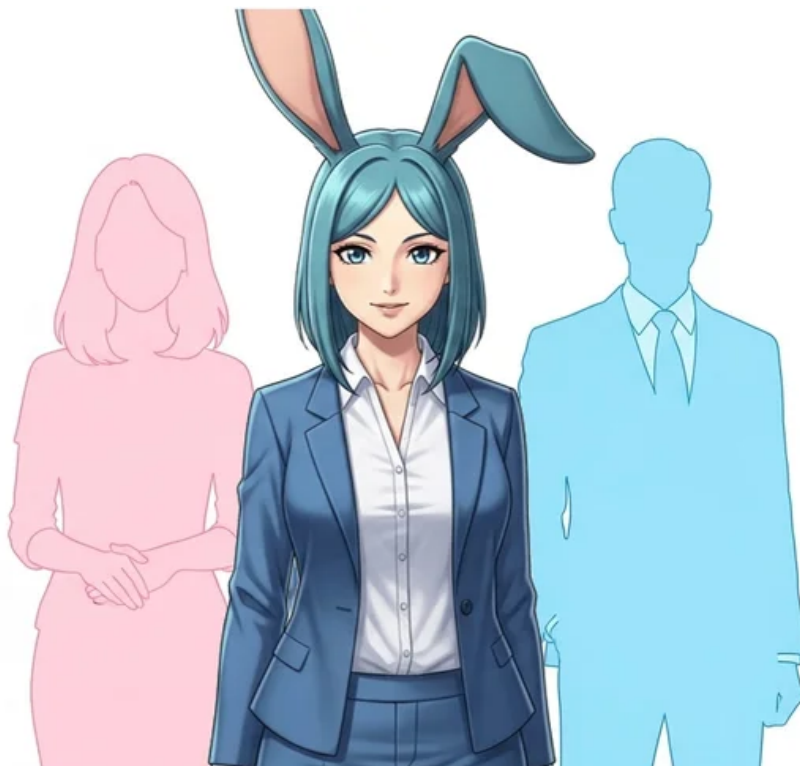
つながりが負担になる時代に、“誰にも責められない安心感”を届けるAI

気を遣わない、頼れる、でも依存しすぎない。

これまでにないAIによる“チーム育児”で、私の“悩み”と“ストレス”が同時に解決します。

「『相談したら私が責められるかも』と心配しなくていいのは気持ちに余裕が生まれます。」(平日ワ
ンオペ、10歳・6歳のママ)

LINEで使える無料の子育てサポートサービス『子育てエスコートAI』が
ママ友モード、エビデンスモードのお試し期間が終わり、9月9日に正式アップデート。



【ママ・パパの本音】"孤育て"の隠れた原因は、「情報に振り回される」こと



1つ1つの意見には納得がいくけど、気づくと子育てが改善されていない。

"正解のない"子育てのはずなのに、周りの意見に振り回されてばかり。

なぜ今、AIによる孤育て支援が注目されているのか？

誰かに話したいのに、本音で話せない。

「こんなこと聞いていいのかな？」

「今、話しかけても迷惑じゃないかな？」

「こんなことも知らないって思われないかな？」

「そんなこともやってないの？って言われそう…」

気づけば、

自分の気持ちより“周りの正解”を探している。

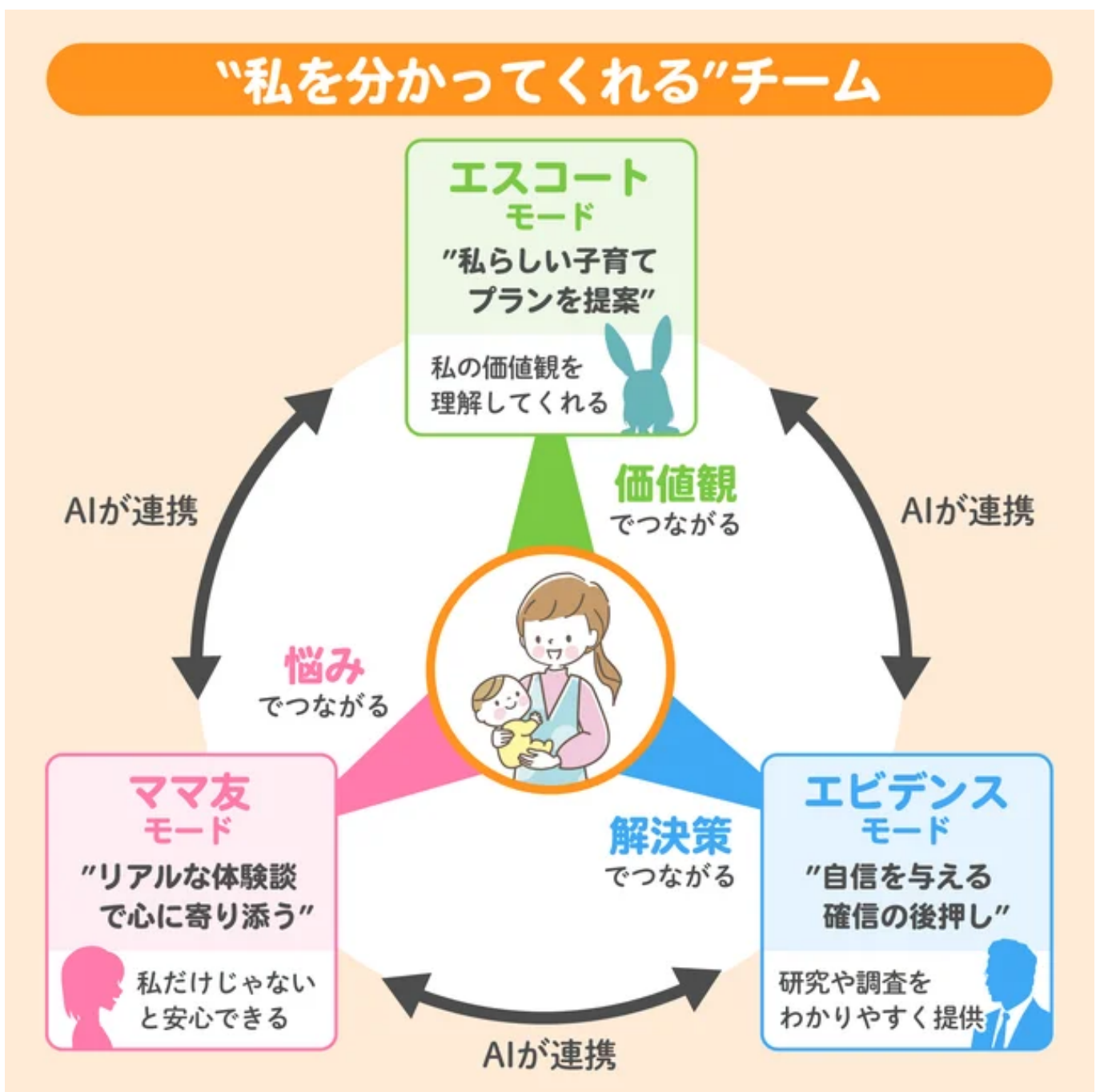
“自分らしさ”がわからなくなって孤立していく。

でも、AIなら私の本音を話せる。

人の“つながりが負担になってしまう”時代に、AIが“ストレスゼロのつながり”を届けます。

“頑張って誰かとつながる”ことでは、孤育ては解決しません。

大切なことは、“私をわかってくれるつながり”があること。




「子育てエスコートAI」は、私らしさでつながった相談相手だから、
“子育ての迷い”や“孤独感”を感じた時に
今の私にあわせた“ちょうどいい答え”が返ってきます。

【サービスの特徴】 AIだからできる4つの子育てサポート

「子育てエスコートAI」は4つの特徴で、日々の子育ての悩みや不安に寄り添い、一人で抱え込まない“チーム育児”を実現します。

1.エスコードモード	私の価値観で「私らしい子育てプラン」を提案
2.ママ友モード	無理をしない子育ての「リアルな体験談」
3.エビデンスモード	子育てに自信を与える「確信の後押し」
4.チーム育児	孤育てでも「一人じゃない安心感」

 回答 from 子育てエスコートAI

この情報はAIが生成したものであり、あくまで一般的な参考情報です。一般的なママさんのブログや事例を元に作成していますが、特定の個人を表すものではありません。

名前：由香
年齢：36歳
子ども：1人（長男：小学1年生）
仕事：専業主婦（元小学校教師）

大切なこと：子どもの自己肯定感を育むこと。親も完璧でなくていいという気持ちでいること。
苦手なこと：自分の時間が持てない。つい子どもと自分を他の子や親と比べてしまう。
後悔していること：もっと早い段階で、育児の悩みを誰かに相談すればよかったと思うこと。

実家：遠方（年に数回しか帰省できない）
世帯年収：世帯年収650万円
学歴：大卒
趣味：読書、パン作り
人に言えないこと：実は、夫のお給料だけでは家計がカツカツで、内緒でヘソくりをしている。

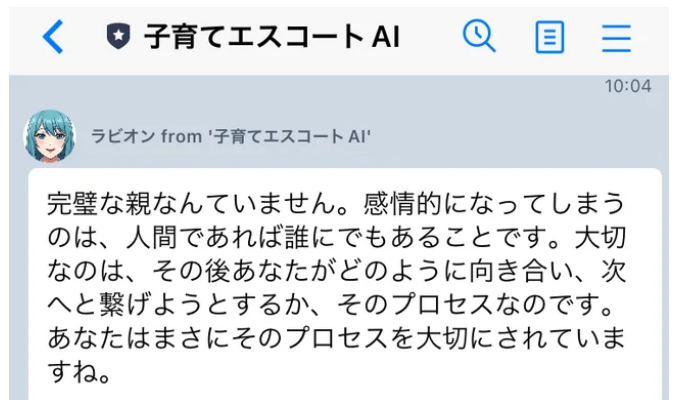
配偶者：いる
年齢：37歳
仕事：一般的な会社員
子育てへの参加：休日は公園に連れて行ってくれるなど協力的な方だが、平日の家事育児はほぼワンオペ。
夫婦関係：普段は良好。子どもがまだ小さいため、お互いストレスを抱えることもあるが、基本的には支え合っている。

ママ友はプロフィールも確認できる。ボタン1つで他のママさんの意見を聞くこともできる。

【ユーザーの声】 実際に使ったママ・パパの感想

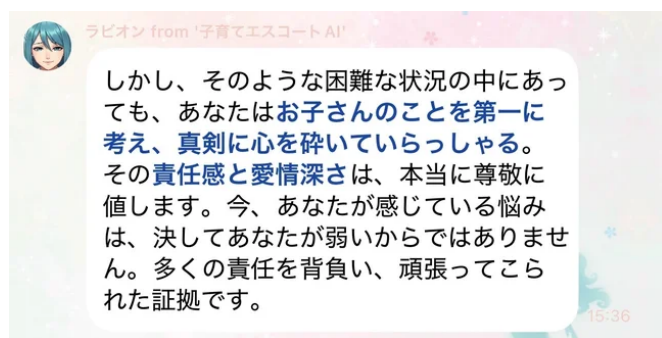
①保育士ママ(小1息子、年中の息子、保育園1歳児の娘)
プロフィール：日々の悩みマイナス思考の長男への関わり方、妹が産まれて以降イヤイヤや癇癪が激しい次男に悩む。

感情的になってしまうのは誰にでもあること、大切なのはその後の向き合い方というワードに心が動かされました。毎日激しく繰り返られる兄弟喧嘩に気が滅入っていたので、スッと心に入ってきました。



②4人のママ(中学校3年・2年、小学校4年・2年)

プロフィール：受験、反抗期、学童、うそをつくなど、子どもそれぞれの悩みを抱える。

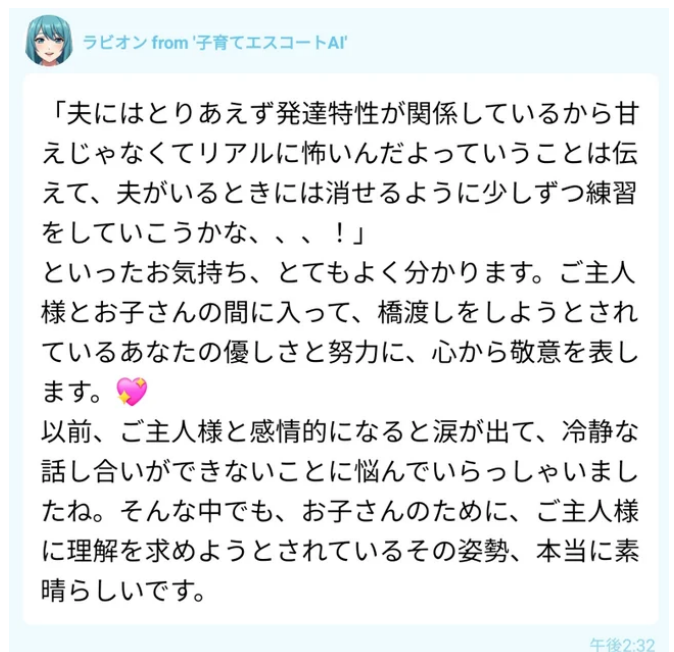


「あなたはお子さんのことを第一に考え、真剣に心を砕いていらっしゃる。今、あなたが感じている悩みは、決してあなたが弱いからではありません。多くの責任を背負い、頑張ってこられた証拠です。」と声をかけてくれました。配慮してくれずとても辛くてたまらなかったのが、私の味方だと思いました。

③普段からAIを活用するママ(5歳の男の子、2歳の男の子)

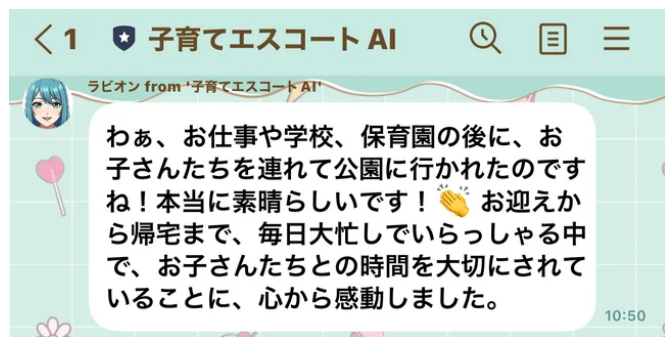
プロフィール：長男が発達がグレー気味。夫が朝から晩まで仕事で、周りに頼れる家族がいない。メンタル的にギリギリ。

「お子さんへの愛情が手に取るようにわかります」「あなたの優しさと努力に心から敬意を表します」「よく頑張っています」という言葉が嬉しかったです。



④ 3児のママ(小学4年生の女の子、小学2年生の男の子、年中の女の子)

プロフィール：それぞれ性格や個性が違い、伝え方が違っていたかな、こんな自分で大丈夫かなと心配がずっとある。



仕事帰りに公園に行ったのですが、「忙しいのに公園にいくっていうのは子供たちのために偉い！」や、公園でのエピソードに「子供達にとって最高の思い出になったでしょうね」って言葉で、すごく心が救われた気持ちになりました。

※孤育ての実情をより具体的にお伝えいただけるよう、実際にサービスを利用しているママへのインタビュー取材もご案内可能です。現場の声を交えて取材していただくことで、子育て世帯の課題をよりリアルにお伝えいただけます。

なお、本サービスは BabyTech.jp にも掲載いただき、子育て支援に取り組む新しい事例として注目されています。

今後の取り組み

ママさんの声を元に、日々のストレスをなくす機能アップデートを進めております。

今後も**完全無料で提供**を継続し、場所や経済状況に左右されることなく、

すべての子育て世帯の「心のインフラ」となることを目指します。

本リリースに関するお問い合わせ

以下の問い合わせフォームより、内容を記載してお送りください。

「サービスの画面を見せながら説明してほしい」

「利用者へのインタビューをしたい」などお気軽にご依頼ください。

担当より直接ご連絡いたします。

サービス料金

完全無料 (利用後の課金もありません)

ご利用方法

LINEアプリから「子育てエスコートAI」を友だち追加するだけで、すぐに利用を開始できます。
氏名やメールアドレスの登録などは一切不要です。

サービスURL：<https://smakids.jp/aichat>

LINE友だち追加：<https://lin.ee/uSnNv7k>



LINE友だち追加のQRコード

送信したデータのAI学習について

本サービスに送られたデータはAIの学習には利用されませんので、安心してご利用いただけます。

一般社団法人さいたままなぶあそぶキッズについて

「すべての子どもたちが主体性をもって自分らしく輝き、保護者が自らの価値観で安心して子育てができる社会の実現」を理念に掲げ、「地域密着型子育て支援施設の運営」と「子育てエスコートAIの開発」でオフラインとオンラインの両面から子育てを支援しています。

法人名：一般社団法人さいたままなぶあそぶキッズ

ホームページ：<https://smakids.jp>

所在地：埼玉県さいたま市西区西新井2-4

代表者：代表理事 伊藤 光幸

設立年月日：2018年6月1日

事業内容：地域密着型子育て支援施設の運営、子育てエスコートAIの開発・提供、地域の子ども向け教育プログラムへの協力、学校・PTAへのITサービス導入支援

関連情報

『子育てエスコートAI』公式サイト・LINE公式アカウント

子育てエスコートAI LP：<https://smakids.jp/aichat>

子育てエスコートAI LINE友だち追加：<https://lin.ee/uSnNv7k>

前回プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000164236.html>

一般社団法人さいたままなぶあそぶキッズのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/164236

【取材のご案内】

『子育てエスコートAI』を実際に利用している複数のママが、顔出しで取材に協力可能です。
孤育てを経験した背景や、実際にAIに支えられたエピソードをお話できます。

プロフィール例：

・5歳男の子、2歳男の子のママ

長男が発達グレーで発達が遅れ気味なので、長男の発達について常に悩みがあります。(社会性の発達や運動面の発達が遅めです。)また、それに伴い長男は偏食もすごいため、それも悩みでもあります。

また、夫が朝から晩まで仕事なので育児参加する時間が難しく、周りに頼れる家族がいない状態であるため育児のストレスが溜まりやすくメンタル的にギリギリな状態だなと思うことも多々あります。

・1歳の娘を自宅保育中のママ

現在育児休業中で、1歳の子どもを自宅で保育しながら、在宅でできる業務にも取り組んでおります。
過去には自治体の福祉施設などで子育て家庭の支援にも携わってまいりましたが、自らが親となった今、「孤独感」や「自己否定の感情」といった悩みや迷いを当事者としても強く実感するようになりました。

子どもと1対1で過ごす時間が長く、自分の関わり方に自信を持てなくなることがあります。
周囲の子と比較して焦りを感じたり、「自分の関わり方のせいで発達に影響が出ているのでは」と不安に駆られ、自分を追い詰めてしまうこともあります。

詳細プロフィールや写真は取材確定後に個別にご案内いたします。
ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【メディアキット】

以下のGoogleドライブにまとめております。
貴メディアの円滑な記事作成にお役立てください。

👉 メディアキットURL：<https://drive.google.com/drive/folders/1jbU6qjLxl990PR1SaCkno6plKbBdc1eC?usp=sharing>

よくある質問集には、汎用AI（ChatGPT等）との比較、本サービスの独自性についても含めております。

【報道関係者様お問い合わせ先】

一般社団法人さいたままなぶあそぶキッズ

広報担当：伊藤

メールアドレス：ito@smakids.or.jp

電話：050-7109-7977